

【 概 要 】

平成24年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用者編】(第3回)

1. 調査の概要

調査対象期間(平成24年11月～平成25年2月)に民間住宅ローン(フラット35を含む。)を借り入れた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプの別や住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめたものである(回答数:997件)。

2. 調査結果の主なポイント

(1)「変動型」利用割合は51.0%に減少

- ・「変動型」は51.0%と、前回調査(53.6%)と比べて減少している。
- ・「固定期間選択型」の利用割合は26.0%と、前回調査(24.4%)と比べて増加している。
- ・「全期間固定型」の利用割合は23.1%と、前回調査(21.9%)と比べて増加している。
<p2>

(2)今後1年間の住宅ローン金利見通しは「現状よりも上昇する」が大幅に増加

- ・今後1年間の住宅ローン金利見通しについては、「現状よりも上昇する」が35.0%と、前回調査(20.8%)と比べて大幅に増加し、「ほとんど変わらない」は53.3%と、前回調査(66.2%)と比べて減少している。<p9>

(3)住宅ローン選択の決め手は、圧倒的に“金利の低さ”

- ・住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」とする回答が72.5%と圧倒的に多い。次いで、「住宅・販売事業者(営業マン等)に勧められたから」「繰上返済手数料が安かったこと」の順となっている。<p14>

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ